

県道綿貫篠塚線（上新田・下新田工区）歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

地元の声

・中央小学校の通学路であるが、歩道の段差が大きく危険であるため、安全に歩けるよう歩道をつくってほしい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：玉村町上新田、下新田
- 事業内容：歩道整備 延長570m、歩道幅員1.5m
- 事業期間：令和4年度～
- 現在の交通量：8,085台/日(自動車) (R3年度)
131人/12時間(歩行者)(H27年度)
82台/12時間(自転車)(H27年度)

事業前

◆ 歩道が狭く、波打つ構造であるため、歩行者が危険な状態となっています。



事業前の状況

事業後

◆ 歩道と車道を分離するブロックを設置するとともに、歩道が平坦となり、歩行者が安全に通行できるようにします。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
平坦な歩道の整備率	0%

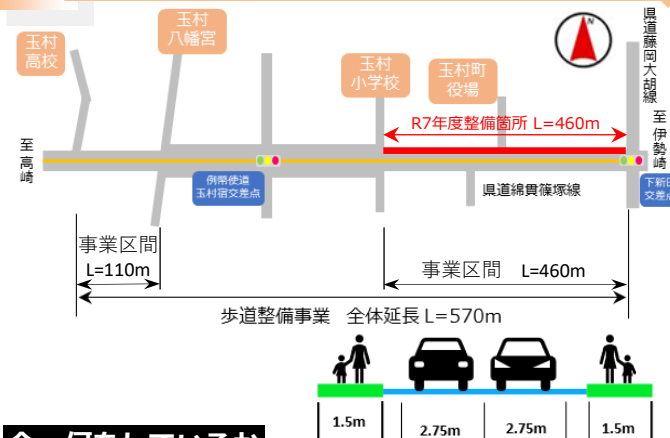
実施後(目標)
100%

歩道を整備します



事業位置
玉村町

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は北側歩道の工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始

事業完了